

プロジェクト報告書

団体名 CAPS

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表紙・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

パソコン操作の取得を通し、いきがい・就労へのステップへ

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

現在の社会では、IT化の進展にともない障がい者でもパソコン技術を習得していなければ、教育や就労に大きなハンディが生じている。また、障がい者の多くにはパソコン技術に興味を抱く人が多く支援の如何により教育や就労に大きな展望が開ける場合がある。これらの経験から求める人に私達は支援を続けたい。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

計画	プロジェクターを使用した事業(3/18 現在)	
1. 教育や就労相談関係 (年12回・参加36名)		
2. パソコン技術の習得関係		
・障がいを持つ親子 (年12回・参加人数延べ48名)	12回	述べ73名
・障がい者・高齢者のパソコン教室 (年36回・参加人数延べ540名)	3回	述べ15名
・青海市障がい者サポートセンター出張パソコン教室 (年12回・参加人数延べ120名)	11回	述べ148名
・スキルアップ学習会 (年24回・参加人数延べ130名)	21回	述べ141名
・イラストレータ学習会 (年20回・参加人数延べ120名)	24回	述べ162名
・学習会 (年10回・参加人数延べ60名)	4回	述べ28名

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

部屋の照明の調整できないところでのパソコン講習が多いので、パソコン操作時の手元は明るく投影画面のところは暗くし投影画像がはっきり見えるようにしていました。天井にある照明へカバーを掛けたりして対処していましたが、明るい出力が出るプロジェクターを使うことで講習準備(照明に対して)の必要がいらなくなった場合が多くなりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

明るさのあるプロジェクターを使うと、明るさの調整が出来ない部屋でも投影した画像がよく見えて、受講者の認識力が高まりました。いろいろな障害のある人たちが集う講習では学習する環境を整えておく必要があります。今回のプロジェクター購入で、学習するための環境をできる限り最善のものにしていく必要性を感じました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

